

韓国留学を通して感じたこと



法文学部 法経社会学科 法学コース 3年 山崎美南



私は今年2月から6月までの4ヶ月間、韓国・全州(チョンジュ)にある全北大学に留学していました。全州はソウルから高速バスで約3時間、KTXで2時間弱の場所にあります。4か月という短い期間ではありましたが、充実した留学生活を送ることができました。今回は、実際に韓国に行き感じた文化の違いの中から2つピックアップして紹介します。また、全北大学は都市部からは離れた場所にあるので、留学してみて感じた「地方大学に留学するメリット」についても取り上げてみたいと思います。

ひとりでお外食が辛い

韓国は日本よりもひとりで外食が辛い雰囲気があり、飲食店に行っても1人で来ている人はほとんどいませんでした。韓国人の友達も「ひとりご飯は寂しいし恥ずかしいからできない」と言っていました。お店によっては2人前からしか注文できないことも。ひとりご飯が好きな私には少し不便でした... 理由としては以下のことが挙げられます。

- ①美味しいものを分かち合う(共有する)文化がある
- ②複数人で食べる料理が多い
- ③周囲の目を気にする性格



ただ、最近は「ひとりご飯」をする人も増えていて、ひとりで入りやすいお店も増えているようです。また、ファストフードやコンビニのご飯、デリバリーも充実しているのでひとりでも食べ物に困ることはありません。日本料理店もたくさんあります！

地方大学に留学するメリット

韓国留学を考えている方は、やはりソウルや釜山など都市部の大学がいいなと思うかもしれません。しかし、地方大学だからこそそのメリットもあるんです！

▶ 日本人留学生が少ない

- 全北大学には日本人留学生が少なく、時期によっては日本人が自分1人だけということも。(ソウルの大学だと、クラスの半分が日本人ということもあるようです。)

留学の失敗談としてありがちな「日本人同士で行動して結局日本語ばかり使ってしまった...」ということにはなりにくい。その分、現地の人々や他の国からの留学生と交流する機会を増やせる。

▶ 日本語を目にする機会が少ない

- 看板や飲食店のメニュー等に日本語訳がないことが多い
- 大学で配られたガイドブック等も韓国語・英語・中国語版のみ。

不安要素にもなりますが語学力を身に着けるには良い環境！

▶ 旅行しやすい

これは全州に限った話かもしれませんが、全州は韓国内のいろいろな都市に旅行しやすい場所に位置しているので、留学中でも韓国旅行をたくさん楽しめます。私はソウル、釜山、済州島に旅行に行きました。麗水、安東、慶州などに旅行しているクラスメイトもいました。旅行ではなかなか行かない場所に行けるのも地方の魅力！



大学内の写真です↑

カフェの多さ

なんと大学の前にもこれだけ多くのカフェがあります...！

テイクアウト専門のコーヒーショップも多く、コーヒー片手に歩いている人がたくさんいます。

- 昼休みに友達とご飯を食べた後はコーヒーを買って次の授業に行く

- 夜ご飯を食べた後はそのままカフェに行く

→ 食事とカフェがセットになっている感じ！

一番安いアメリカノは100~300円で買えます。

コーヒーが苦手な人へのおすすめは「コグマラテ」と「バニララテ」

おしゃれでかわいいカフェがたくさんあるので、カフェ巡りが好きな人はすごく楽しめる！



留学中の活動

- ▶ 異文化交流
- ▶ 国際交流サークル (飲み会、レクリエーション、観光地巡り、日本語教室の先生など)
- ▶ 韓国人と留学生でグループを作り交流するプログラム
- ▶ 学祭
- ▶ 美容室、ネイル
- ▶ 旅行

→ 学祭での芸能人のステージ



ちなみに全州には全州韓屋村(전주 한옥마을)という有名な観光スポットがあり、韓服を着て韓国の伝統的な街並みを楽しむことができます。また、ビビンバ発祥の地と言われており、ビビンバはもちろんご飯がおいしい街です。韓国に行く際はぜひ訪れてみてください！(^^)/

